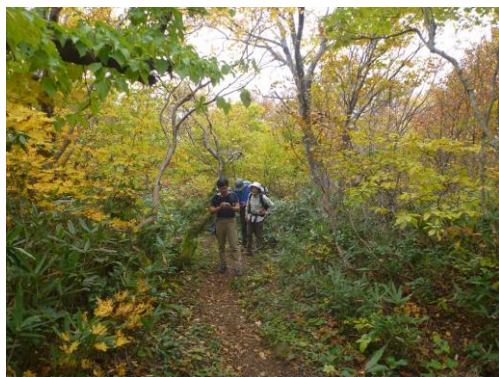


菅名岳三山縦走

須藤 信

- 山行年月日:2021年10月31日
- メンバー:外島正明、栗田光基、須藤信、他2
- コースタイム:いづみの里登山口 7:50
～大蔵山 10:10～菅名岳(ランチ) 11:30
～鳴沢峰 12:50～小山田登山口 14:45

国道49号線を車で走ると、「阿賀の里」の西手に顕著な鳴沢峰のピークを見ることができる。もっと分かり易く言えば、新潟方面から会津に戻る時、右手に見える新潟平野の末端から連なる山塊がこれである。水量の豊富な「どっばら清水」が有名で、この水を使った「菅名岳」というお酒も良く知られている。



大蔵尾根

通常、大蔵山から菅名岳あるいはこの逆を巡る「どっばら清水」を通るコースが一般的だが、今回は鳴沢峰にも登る縦走コースとした。さらにこれを一周するコース取りも可能であるが、秋の日が短いこともあり、車2台を使い登山口と下山口を別にして臨んだ。この山城、夏場

はヒルの怖さがあり、また外島さんの奥様と栗田さんは初めてのことで、この時期に紅葉狩りを兼ねて計画した。

彼岸桜で知られている小山田登山口に車1台を置き、メインの登山口である「いづみの里」から登山を開始する。林道から登山口に出て大蔵尾根の急な杉林を登りきるとナラとブナが混生した自然林になり、紅葉も始まっていて美しい。登山道は急峻と平坦を繰り返し、六合目を過ぎるとわずかながら展望も出てくる。天候は今のところ薄曇りだが午後からは晴天になるらしい。八合目あたりから灌木帯になって急に周囲が開けてくると大蔵山(864.3m)の山頂である。



大蔵山から日本海

ここからは会津の山からは見ることのできない日本海が、新潟平野の先に広がる。阿賀野川の流れの先にグルーっと西に角田、弥彦、米山、近くには白山、粟ヶ岳、日本平山、奥には会津との県境稜線の山々、北の方には飯豊連峰、天気

が良ければ鳥海山も見える絶景の頂である。栗田さんは、「今日はここでいい!」と、腰を下ろして景色をじっくり楽しんでいた。

大休憩後、ここから菅名岳に向かって展望を楽しみながらの稜線歩きとなる。小さな山小屋を過ぎいくつかのアップダウンを繰り返しながら、見える山並みも次第に会津側の山々が変わってくる。顕著な磐梯山が確認できると、間もなく菅名岳(909.2m)の山頂に着いた。



菅名岳山頂

景色を堪能しながらランチをしていると、若い女子グループが誕生日記念登山の最中で賑やかだった。

ここから丸山尾根を下山して「いづみの里」へ下るのが一般的だが、さらに稜線上を東へと進む。展望も飯豊山系を中心に、五頭連峰の山々も近くに見える。眼下には阿賀野川と咲花温泉、国道沿いの「阿賀の里」が直ぐ近い。いくつかのアップダウン後、間もなく静かな鳴沢峰(880.1m)の頂に着いた。

ここから続く五葉尾根は方向が変わり、再び展望が日本海向きになる。天気も回復してきて粟島らしき島影も見えてきた。下山路は咲花温泉への分岐を

過ぎたあたりから急峻な道が続き、一気に高度を下げる。沢を挟んで菅名岳から派生する尾根を左手に見ながら痩せ尾根を下る。沢筋に出て林道を進むと小山田登山口に出た。



鳴沢峰からの展望

ここから丸山尾根に登り返し「いづみの里登山口」へも行けるが、「地獄坂」と呼ばれる急な階段が控えており、更に林道を1時間近く歩く必要がある。

予定通りデポしておいた車で出発した登山口へ戻ると、山頂でパーティーをしていた女子グループに再会し、すっかり仲良くなっていた外島さんはうれしそうだった。



地獄坂へ続く登山道